



明治・大正・昭和を駆け抜けたロマンチスト

竹久夢二

2019
4/4 THU
6/30 SUN

生き方

明 治17(1884)年に生まれ、大正時代(1912・26)を象徴する画家として活躍し、昭和9(1934)年に世を去るまで、49歳11ヶ月の人生を駆け抜けた竹久夢二。

画家としての活動にとどまらず、デザイナー、詩人としても数多くの作品を残し、恋と旅を重ね、夢二はドラマチックな生涯を送りました。そして平成時代が幕を閉じようとする今もお、夢二が残した美の世界は、注目され続けています。

本展では、明治・大正・昭和にわたる、ロマンに満ちた夢二の生き方と芸術を紹介し、さらに夢二をめぐる平成年間の動向も振り返り、その魅力を深く追求します。

担当学芸員によるギャラリートーク
4/13(土)5/12(日)6/15(土) 午後3時より

休館日 月曜日・5月7日(火)

ただしGWを含む4/23~5/6(月祝は無休で開館)

開館時間 午前10時~午後5時(最終入館4時半まで)

入館料 一般900円大・高生800円中・小生400円
※弥生美術館も併せてご覧頂けます。

竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2

TEL 03(5688)0462

<http://www.yayoi-yumeji-museum.jp>



竹久夢二・画「暮笛」(部分)

二つの肉体の
一つが死んでも
愛は残る。

(日記より 1920年6月5日)

